

令和4年度第2回天草市総合教育会議 会議録

1 期 日 令和4年11月8日（火）午前10時開会

2 場 所 天草市役所本庁 庁議室

3 出席した委員等

市長	馬場 昭治	教育長	石井 二三男
委員	木下えり子	委員	行合 八恵子
委員	吉森 啓司	委員	池崎 教授
委員	平道 千春		

4 欠席した委員等

なし

5 出席した職員

教育部長	平野 貢司	教育総務課長	本多 俊隆
学校教育課長	赤星 潤一	生涯学習課長	岡田 恵
学校給食課長	堀口 広正	学校教育課審議員	酒井 成寿
学校教育課教務係長	盛田 達矢	学校教育課参事	伊形 英朗
文化課課長補佐	亀子 敬史	教育総務課総務企画係長	松下 美紀

6 議題

- (1) 天草市教育大綱について
- (2) 今後の主な取組みについて

7 報告事項

- (1) 不登校・いじめ問題等の状況について

8 会議の概要

- (1) 開会

開会にあたり、事務局より、会議出席者の紹介及び傍聴者の報告を行った。

- (2) 市長あいさつ

馬場市長より、会議開催にあたり、日頃の教育行政への協力へのお礼と、天草市における近況の動きについて紹介が行われた。

- (3) 協議・調整事項（発言要旨）

① 天草市教育大綱について

（教育総務課から、資料に基づき現在の教育大綱案について説明）

馬場市長： 昨年の総合教育会議において、現在の教育大綱についてご協議いただき、令和3、4年度は現行の教育大綱により継続して教育行政を行っていただいているところであります。現在、教育振興審議会で令和5年度からの第3次天草市教育振興基本計画を

審議いただいているため、教育大綱案について、教育委員からの意見を伺いたい。

吉森委員： 大綱案は文面が変わっており、基本方針1「子どもたちの学びの充実」と変わっているのは、学校教育以外に幼稚園の英語教育の充実なども含んでおり、とても良い。

木下委員： よく考えて作られている。未来を担う子供たち、天草独自の文化、様々な体験を通してなど、朱書きの部分に天草市の思いが伝わる。特に市長が言われる体験活動は大事である。方針4朱書きの歴史文化の保存・継承の付け加えは、世界遺産もあり的確である。方針3スポーツ・運動の推進について、第3次計画には入っていない。今の子供たちの課題は運動不足や体力低下であり、肥満傾向の子も増えている。コロナ禍で運動不足となり、成長期に遊びや運動を通して心身共に成長してほしいと願う。健康教育のところには記載されているが、足りない感じがする。

教育総務課長： スポーツ・運動については、分野別計画としてスポーツ推進課で別途策定されており、大綱には入っているが第2次計画からは含まれていない。

木下委員： 分野別計画の方で取り上げていただきたい。

馬場市長： 先日、子育てフェスティバルに参加し、質問やご意見をいただいた。子どもたちが遊びや運動する場所がなく、ゲームしかすることがないという話である。せっかく天草には色んな所があるのにもったいないと思い、考えさせられた。

行合委員： 市長が体験を重視したいとのことだが、脳の記憶をつかさどる海馬の中に歯状回があり、学習の経験や体験が蓄積され、ひらめきに繋がるそうなので、子供たちの経験は必要だと思う。学校訪問で感じるのは、校長先生が頑張っておられる。ある先生は、学力向上のために発達に合わせた習得の課程を作られ、不登校についても子供や保護者への対応によりゼロになっている。地元の小学校でも学力向上もだが人間形成もあり、校長先生が子供たちも見ながら先生たちの教育もされており、主導となって盛り上げていただいている。学校訪問には教育総務課も帯同され、施設整備面でも教育委員会の中の報連相が見受けられ嬉しく思う。それにより学力向上ややる気が出ているのでもっと推進していただきたい。

馬場市長： ありがたいご意見で、先生方の励みになると思う。

池崎委員： 基本理念1つめの「さらに」は不要、子供たちが「、」で切り、健やかに育つ「ために」とすると、すっと入ってくるような文章になる。

馬場市長： ぜひ検討させていただく。

池崎委員： 方針1の内容について、教職員の資質向上の部分で、学校環境の充実という文言があればよい。

教育総務課長： 教育を支える環境づくりの中に含めており、働きやすい環境を入れている。

行合委員： 先ほどの市長の話で保護者から遊び場がない、ということだが、具体的な要望はどういうことか。

馬場市長：公園の遊具の撤去や遊べるところに保護者がいないと入れない場所があるなど、外で安心して遊べる場所がもっとあるといい、という意見である。移住者の方が子育てしやすいと言われるので、選ばれる場所になるために、まちづくりの観点からも検討しなければならない。

木下委員：文章は短く、句読点で句切ると読みやすい。

② 今後の主な取組みについて

[1] 令和5年度に重点的に取り組む内容

(教育総務課、学校教育課から、資料に基づき令和5年度に重点的に取り組む内容について説明)

馬場市長：ご意見をお願いしたい。

吉森委員：教育相談事業の中で、部活動地域移行について、私は4年前に真逆のことをやった。廃部だった柔道部を復活し、中体連へ参加をした。種目がない部活の指導でお願いに行った場合、決まり事などあるのか。

学校教育課審議員：現在の状況として、各学校において特設として校長が認めれば、大会出場は可能である。

馬場市長：拡充や継続など、しっかり協議を進めていただきたい。

[2] 課題となっている内容

(教育総務課から、資料に基づき課題となっている内容について説明)

馬場市長：9月議会において、施策が多くあるが分かりにくいため、子供を産み育てるところから必要な支援が時系列に見えるように整理をするよう指示した。何が足りないのか見える化を行い、部署を横断してやるように。おむつ代や給食費など、子育てにどんな施策があるのか考えて支援していく必要がある。また、子どもの数が減少し、小学校修学旅行費の負担差や中学校部活動においてやりたいことができない状況で、学校を合併すべきではないかの議論をする必要がある、との質問内容である。そのためアンケートを取るとの答弁を行った。行政もだが地域がどのように考えておられるか、子供たちにとって何が一番必要かを検討する必要がある。

木下委員：中学校は5年後に50人を下回るのが6校、現在は4校である。小・中学校は地域とともにある学校づくりが推進されている。大規模校は集団の中で学ぶ多くの刺激があるが、小規模校は一人一人に応じたきめ細やかな指導ができる。栖本中は小規模校だが駅伝は県大会に出場し、目覚ましい活躍である。伝統行事の継承など、地域の中で育成されている。中学校のあり方についても保護者や地域の思いを中心に考えなければならない。幼稚園のあり方も検討、議論していかなければならない。

池崎委員：中学校の合併の問題で、どのくらいの通学時間を目安にしているのか。

石井教育長：目安はない。天草小・中学校において、福連木はバスに乗る所までも距離がある。検討するうえで、仮に天草中を例に挙げると、河浦中と統合するかと考えた場合、福連木の子は稜南や苓北へ、ということにもなりかねない。旧自治体を中心にして考

える話は行き詰まってしまう。スクールバスはどこまで出さなくてはいけないかという状況にもなる。

行合委員：天草小バスで福連木は別便になっている。本渡南小の研究発表では、少人数の能動的主体的学びが実践されていた。少人数がどのような効果をもたらすのか、発想の転換で、学力をつけるなど対応できないか。ともに学び問題を共有化し、ともに育っていくのを推奨すれば、天草市の教育が向上すると思う。少人数がダメなのではなく、有効に活かすということである。

石井教育長：片方ではこれからグローバル社会への対応、子供たちは少なくなるが世界は変わらない。統合しなくても小規模校の良さはあるし、頑張っている。地域の保護者のご意見、将来像についてどのように考えておられるのかを聞くアンケートを行いたい。

馬場市長：何が一番問題なのか、部活動がやりたいことができない、学力の競争ができないこと、学校の合併がすべての解決策になるのか。小規模校ならではの目が行き届くことも重要である。その意味で体験学習がある。どうすれば子供たちの未来のためになるのか、できるところから、枠組みを変えて、学校単位の競争や概念を無くしていく様々な考え方がある。しっかり議論をしていかなければならない。旧自治体の枠組みを残すとなれば色々問題が出てくるので、アンケート内容も含めて検討していかなければならない。

池崎委員：牛深東中において先生の通勤時間が長いということを聞いた。先生方の思いなどは。

石井教育長：前市長の意見だが、車社会となり、市町村合併し、市の職員の動きも広域になった。教職員だけその地域に住むように、とも言えない。校長住宅もない状況で地域にいてくれと言えない。私も地域に住んで大変良かったのだが、今の先生方は通っている。

行合委員：昔は地域に先生方は住んでいただいていた。交流を深められ、地域に入り込んで先生方は学ばれることもあった。

石井教育長：住んでいたら目がある。

池崎委員：それぞれの状況もあるが、通うのは大変だろうと思う。

馬場市長：働き方改革や労働者の権利などそちらに向かってしまい、どんどん失われており、矛盾も感じる。

吉森委員：eスポーツについては世界的にも人口が増えている。不登校の問題とも関連すると思うが、ゲームについても理解し、受け止めることも役に立つのではないか。

馬場市長：世の中が変わってきており、様々なことを受入れて見ていかなければならない。

行合委員：部活動の社会体育移行について、都市部と郡部では人材の差がある。一流の選手を呼んでの指導、招致などで補っていけるのではないか。

馬場市長：天草は広域で面積が広いため、課題をどう解決していくか、教育だけでなくトータルでしっかり見ていきたい。スポーツコミュニケーションもできるので取り組んでいきたい。

（4）報告事項

① 不登校・いじめ問題等の状況について

（学校教育課から、資料により市内不登校及びいじめの状況等について報告）

（5）閉会

市長の宣告により閉会する。